



# 2017年（第28回）非開削技術研究発表会 開催のご案内

- 日時：2017年10月18日（水） 9：00開会（8：45受付開始）  
会場：発明会館（東京都港区虎ノ門2-9-14 03-3502-5499）  
主催：一般社団法人 日本非開削技術協会 <http://www.jstt.jp>（電話 03-5639-9970）  
後援：公益社団法人 日本推進技術協会  
参加費：会員 3,000 円、官庁（役所）・学校関係 無料、非会員 6,000 円（論文集費含）  
継続教育：土木学会（CPD）7.0 単位、全国土木施工管理技士会連合会（CPDS）7 unit  
懇親会：発表会終了後：発明会館の7F クラブにて（懇親会費：3,000 円）

## プログラム

進行説明 (9:00~9:05)		JSTT・日本非開削技術協会 事務局	
開会挨拶 (9:05~9:10)		JSTT・日本非開削技術協会 会長 森田 弘昭	
第1セッション (9:10~10:40)		非開削 推進 事例（曲線施工、障害物） 座長：石堂 暁 日本水工設計(株) 東京支社 管路施設部長	
1.1	パーティカル施工に対応した超流バランスセミシールド工法の優位性	(株)アルファシビルエンジニアリング	池田 裕治
1.2	超大口径管推進工法の用途と施工事例	(株)イセキ開発工機	橋本 健二
1.3	岩盤・巨礫対策用掘進機の進展と現状	(株)イセキ開発工機	脇田 智晴
1.4	複合障害物切削推進の施工事例（SH 工法）	大林道路(株)	平山 善健
1.5	推進工法の海外展開	機動建設工業(株)	刈谷 光男

(休憩 10:40~ 10:50)

第2セッション (10:50~11:45)		非開削 推進 事例（既設構造物への直接到達） 座長：佐々木 史朗 公益財団法人 水道技術研究センター 常務理事	
2.1	超流バランスセミシールド工法における既設構造物接合技術	(株)アルファシビルエンジニアリング	森田 智
2.2	あらゆる条件を克服し既設構造物へ到達させる「ヒューム管推進工法」	(株)協和エクシオ	三浦 徹秀
2.3	既設管渠への直接切削到達に関する実証実験	ヤスタエンジニアリング(株)	十河 尚美

(昼食休憩 11:45~ 12:40)

<b>第3セッション 非開削 推進 (計測・補助工法・シュミレーション)</b> (12:40~13:35) 座長：尾崎 正明 一般社団法人 全国上下水道コンサルタント協会 専務理事			
3.1	小口径推進における次世代の位置検知技術について	アイレック技建(株)	春木 誠也
3.2	インドネシアにおける推進立坑土留め壁構築時の薬液注入工法の適用性に関する基礎的検討	九州大学／東曹産業(株) ／日特建設(株)	浅野 哲
3.3	低土被り地山の断面矩形推進工法における上部半断面掘削の適用に関する数値解析的検討	九州大学／(株)アルファ シビルエンジニアリン グ	田中 雅弘

<b>第4セッション 非開削 改築・耐震化・強靱化・管路更生</b> (13:35~15:05) 座長：宮武 昌志 アイレック技建(株) 非開削推進事業本部長			
4.1	STREAM 工法(非開削入替工法) 適用範囲拡大の取組み	東邦ガス(株)	長谷 康平
4.2	既設マンホールを耐震化する2工法	日本ヒューム(株)	岩崎 尚平
4.3	下水道管路施設の老朽化対策	(株)三水コンサルタント	藤本 佳嗣
4.4	部分改築工法～管きょ長寿命を目的とした工法～	東亜グラウト工業(株)	田熊 章
4.5	中小口径管路からの下水熱利用技術	東亜グラウト工業(株)	田熊 章

(休 憩 15:05~ 15:15)

<b>第5セッション 非開削 探査・調査・診断</b> (15:15~16:25) 座長：木下 勝也 (株)建設技術研究所 東京本社 下水道部 次長			
5.1	AI 技術を応用した GPR データによる空洞判定の試み	川崎地質(株)	鈴木 敬一
5.2	道路陥没を考慮した下水道管更生の優先順位に関する考察	(株)日水コン	清水 康生
5.3	電気伝導を応用した新しい管路水密性調査技術「エレクトロスキャン」	管清工業(株)	田中 宏治
5.4	血管内超音波検査技術の非開削技術への転用の可能性について	(株)メディス	松本 裕正

<b>特別講演 「北米における管路更生工法の経年劣化総合試験結果」</b>		<b>【日本語の逐次通訳あり】</b>	
(16:25~17:15) 講演者：Raymond Sterling Louisiana 工科大学 名誉教授(前非開削技術センター所長)			
米環境保護庁が出資した、CIPP (現場硬化管) 及びその他の管路更生工法が施工後 5 年~34年でどのように劣化したかを調査したプロジェクト。現場からサンプルを切り取り、研究所で様々な試験を行った結果を報告する。			

<b>閉 会 挨拶 (17:15~17:20)</b>	<b>J S T T ・ 日本非開削技術協会 副会長 楠田 哲也</b>
-----------------------------	--------------------------------------

【連絡先】

〒135-0047 東京都江東区富岡 2-11-18 西村ビル 3 F  
 一般社団法人 日本非開削技術協会  
 URL : <http://www.jstt.jp> ☎03-5639-9970